

授業科目	*在宅看護学演習				単位	1		
履修	必修	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング	NU21402J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP2-1 DP3-2 DP4-2			
担当教員	石井 美紀代、吉原 悦子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>実務家教員として、病院看護師または市町村保健師での看護活動の経験をふまえて講義を行う。この科目では、それぞれの住まいにおける療養生活を支えるケアシステムと、そこで提供する看護ケアについて、演習する。施設内看護と在宅看護の利点と欠点を調べることで、自分なりの看護観を持つ。その上で、模擬事例での看護過程の展開、看護実践計画の作成を通して、在宅療養者と家族を対象とした支援体制や訪問看護の役割を考える。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療・看護をとり巻く社会情勢から在宅看護が必要とされる背景を説明できる。 2. 保健・医療・福祉サービスを整理し、状況に応じた社会資源を組み合わせることができる。 3. 在宅看護にかかわる施策・制度を理解し、療養者と家族を支えるために他職種・他機関と連携する必然性説明できる。 4. 在宅療養に対して安全・安楽な看護および自立を支援する看護計画を立案できる。 5. 看護専門職として、療養者の居宅に1人で訪問する責任を考え、自分の言葉で述べるができる。 6. 地域包括ケアシステムの概要を説明できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	10	20	10	0	10	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	20	10					30	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)	10		5	5		10	30	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)	20		15	5			40	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<p>標準的なレベルの知識、思考、関心、態度を修得した上で、これらをより詳細に表現できる。具体的には、事例に対して、詳細にアセスメントし、個別性がある看護過程が展開できる。また、看護提供に関しては、リスク予測ができ、身体、心理、環境の観察事項が詳細に述べられる。さらにケアシステムに関しては、地域包括ケアシステムをイメージできる。その上で、フォーマルサービス、インフォーマルサービスを含めたケアプランを立案できる。</p>				<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療・看護をとり巻く社会情勢から在宅看護が必要とされる背景を説明できる。 2. 保健・医療・福祉サービスを整理し、状況に応じた社会資源を組み合わせることができる。 3. 在宅看護にかかわる施策・制度を理解し、療養者と家族を支えるために他職種・他機関と連携する必然性説明できる。 4. 在宅療養に対して安全・安楽な看護および自立を支援する看護計画を立案できる。 				

			5. 看護専門職として、療養者の居宅に1人で訪問する責任を考え、自分の言葉で述べることができる。 6. 地域包括ケアシステムの概要を説明できる。
授業計画			
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	予習・復習時間(分)
1	テーマ:在宅看護における看護過程の特徴(石井・吉原・水原・中山) 共通事例によって在宅看護過程のアセスメントの特徴を説明する	講義 調べ学習	予習:看護過程論で学んだ内容を理解する 講義内容の復習
2	テーマ:在宅看護における看護過程の特徴(石井・吉原・水原・中山) 共通事例によって家族アセスメント(Text第2章)、長期的予防の視点を考える	講義 調べ学習	予習:看護過程論で学んだ内容を理解する 講義内容の復習
3	テーマ:在宅看護における看護過程①(石井・吉原・水原・中山) 紙上患者のアセスメント	講義 グループワーク	授業時間内で出来なかった作業の続きを行う
4	テーマ:在宅看護における看護過程②(石井・吉原・水原・中山) 紙上患者の要望を踏まえた援助の方針課題と優先順位の説明	講義 グループワーク	授業時間内で出来なかった作業の続きを行う
5	テーマ:在宅看護における看護過程③(石井・吉原・水原・中山) 目標の設定 包括ケア計画	講義 グループワーク	授業時間内で出来なかった作業の続きを行う
6	テーマ:在宅看護における看護過程④(石井・吉原・水原・中山) 日々の訪問看護計画	講義 グループワーク	授業時間内で出来なかった作業の続きを行う
7	テーマ:在宅看護における看護過程⑤(石井・吉原・水原・中山) ロールプレシナリオ作成 テーマ:生活の視点から看護をみる(石井・吉原・水原・中山) 体のしくみについて理解する	講義 グループワーク 口頭試問	予習:あらかじめ提示された問題を調べておく
8	テーマ:紙上患者の看護(石井・吉原・水原・中山) ロールプレイの場面から訪問看護についてのディスカッション	ロールプレイ ディスカッション	授業内容の振り返り
9	テーマ:訪問看護における技術提供(石井・吉原・水原・中山) 在宅療養の場に適した看護技術の工夫とその視点	講義 グループワーク	授業内容の振り返り
10	テーマ:訪問看護における技術提供(石井・吉原・水原・中山) 手順書の作成	講義 グループワーク	講義内で出来なかった作業の続きを行う
11	テーマ:訪問看護における教育機能(石井・吉原・水原・中山) 在宅療養者への生活指導の工夫と視点	講義 グループワーク	講義内で出来なかった作業の続きを行う
12	テーマ:訪問看護における教育機能(石井・吉原・水原・中山) 指導書の作成 ロールプレイの脚本作成	講義 グループワーク	講義内で出来なかった作業の続きを行う
13	テーマ:訪問看護における教育機能(石井・吉原・水原・中山)	ロールプレイ ディスカッション	授業内容の振り返り

	ロールプレイの場面から患者指導についてのディスカッション			
14	テーマ:看護過程のまとめ(石井・吉原・水原・中山)	講義 まとめ	講義内で出来なかった作業の 続きを行う	90
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	これまでの既習の看護学の知識と、同時に開講されている「在宅看護学」の知識を活用することが必要です。グループワークでは、リーダーシップ・メンバーシップを常に意識して、協力して考えましょう。			
テキスト	地域療養を支えるケア(メディカ出版)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業中に紹介する			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	ケアプラン、看護過程の展開を通して、療養者が望む生活を実現するには看護だけで支えることができないことを理解し、連携・協働のあり方を考えてみてください。			

達成度評価に関するコメント	自分で看護過程が展開やケアプランの作成ができることを求めます。課題はグループの力を借りながら、個人で作り上げて提出してもらいます。
---------------	---